

目次

評論 一九三五年—一九三八年

朝鮮の女流文士 李劍鳴(婦人文藝) 11

朝鮮文壇の現状 李朝民(文學評論) 17

社會主義的リアリズムか ×××リアリズムか 金斗鎔(文學評論) 21

演出家金波宇論 安英一(テアトロ) 32

農村に夏は來たれど 金斗鎔(生きた新聞) 33

森山啓君の批判 金斗鎔(生きた新聞) 49

朝鮮と文學 朴勝極(文學評論) 55

最近朝鮮の演劇界 徐恒錫(朝鮮及滿洲) 59

朝鮮映畫噂話 安碩柱(朝鮮及滿洲) 63

現代小説に映じた朝鮮的現實—張赫宙論(一)(二) 金子和(金三奎)(文學評論) 65

朝鮮文壇の特殊性 金文輯(新潮) 81

朝鮮文壇作家の素描 李鮮光(朝鮮及滿洲) 91

朝鮮藝術座の近況 金斗鎔(テアトロ) 95

朝鮮文壇の作家と作品 張赫宙(文學案内) 99

朝鮮文壇を背負ふ人 張赫宙(帝國大學新聞) 103

朝鮮新劇運動の動向 安英一(テアトロ) 105

朝鮮映畫の現状 羅雄 (映畫評論) 109

朝鮮のプロ作家李箕永の人と作品 K・T・Y (文學案内) 117

現代朝鮮作家の素描 張赫宙 (文學案内) 119

朝鮮文化當面の問題 (全4回) 崔南善 (京城日報) 123

朝鮮文壇の傾向 玄民 (兪鎮午) (帝國大學新聞) 127

春香傳劇評とその演出 張赫宙 (帝國大學新聞) 129

朝鮮小説界を覗く (上下) 李泰俊 (京城日報) 131

春香傳公演 [口絵] (テアトロ) 134

朝鮮新劇界一瞥 (上下) 柳致眞 (京城日報) 135

「春香傳」を見る 柳致眞 (京城日報) 139

春香傳朝鮮公演を見て 李永錫 (テアトロ) 141

春香傳上演を観て 辛兌鉉 (朝鮮) 143

隨筆 一九〇一年〜一九二五年

入社説 李人植 (都新聞) 161

夢中放語 李人植 (都新聞) 161

朝鮮人の新年の賀詞 無記名 (都新聞) 163

韓國雜感 (全4回) 李人植 (都新聞) 163

韓人閑話 (上下) (續續) 無記名 (都新聞) 167

韓國の新年 無記名 (都新聞) 173

特別寄贈作文「無題」 李寶鏡（李光洙）（富の日本） 175

霜の朝 朱耀翰（白金學報） 175

秋の石坡亭（全2回） 秦瞬星（京城日報） 177

あれから 朱耀翰（白金學報） 179

車中雜感 李光洙（京城日報） 180

京釜線車中より 李光洙（京城日報） 181

山陽線車中より 李光洙（京城日報） 181

其利那 T H 生（京城日報） 182

『若き漂泊者の夢』 洪海星（築地小劇場） 183

北の國より 高漢容（解放新聞） 184

隨筆 一九二六—一九三〇年

放浪の夏 盧春城（文章俱樂部） 187

街に歸りて 李壽昌（朝鮮公論） 191

プロ文藝夜話 金熙明（文藝市場） 199

青年の日記（全8回） 李壽昌（京城日報） 201

滿月臺 馬海松（手帖） 209

麻姑の手 崔南善（朝鮮朝日） 211

狂想片々（全10回） 韓再熙（京城日報） 213

神州の亡びたるを歎きつゝ、 安在鴻（『調査資料』朝鮮の言論と世相） 223

早稻田在學中の感 洪奭鉉（早稻田學報） 227

秋風隨言（全四回） 李光天（京城日報） 229

朝鮮を描け！ 金斗鎔（帝國大學新聞） 233

釜山埠頭の白衣群 金素雲（東洋） 235

漫想 俞鎮午（京城帝國大學學友會會報） 243

隨筆 一九三一年～一九三五年

第二回作品發表に際して 崔承喜（京城日報） 247

キムチ禮讚（全4回） 金井鎭（京城日報） 248

僕の文學 張赫宙（文藝首都） 251

東京における發表會を前に(1)(2) 崔承喜（京城日報） 255

火田民・土幕民の話 金斗鎔（生きた新聞） 257

わたしには 崔承喜（文藝） 265

離京の悲しみ 張赫宙（文藝通信） 267

踊る夏 崔承喜（行動） 269

チヨンゲ・マンソーの話 張赫宙（文藝） 271

秋の思ひ出 崔承喜（大阪毎日新聞） 274

秋の金剛美 崔南善（隨筆朝鮮） 275

隨筆 一九三六年

書けるか！ 金來成（ぶろふいる） 281

荷 金時昌（金史良）（佐賀高校文乙卒業記念誌） 283

虚無を感じる 張赫宙（京城日報） 285

文藝映畫と私 崔承喜（文藝） 286

朝鮮の冬 張赫宙（帝國大學新聞） 287

『私の自叙傳』 崔承喜（日本書莊） 289

作品出典一覧 443

〈目次表記について〉

- ・上から作品名・著者名・（本来の名）・（掲載紙誌／掲載書）の順。
- ・連載作品で通号表記のないもの及び、通号数に誤りがある作品についてはすべて（全〇回）とした。
- ・漢字表記については原則として原本に拠った。